



企業の完成

令和6年6月22日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

企業の IT システムにおける総括とシステム化における経営の構築は企業の完成を与える。

これらははるかに想像に勝る生産性と効率性における企業経営への転換である。これらは、ビッグデータの管理と分析の自動化、生産システムの構築、産業のマニュアル化とともに、新しい企業の現実を提案するものである。

これらは時代性における企業の完成であり、過去の企業努力は結果としてこれらへの到達を行うことは真実であると考ええる。

全てのデータの自動分析は、IT システムにおいて可能であり、部品、製品、作業、小売、流通、アフターケアの管理を総括し実現できるのである。

また生産がこれら IT システムに連結されることは可能である。これらが自動化における大きな効率性の向上と生産性の向上を与えるのである。

これら大幅なコストの削減は、高い利益性における企業経営への転換を与えるのである。

これらは既存手工業の崩壊と新しい企業基準とシステムにおける企業経営への転換なのである。

これら企業基盤がインダストリー 4.0 やスマートシティ、IoT などの新しい現実とともに時代への参加を実現できるのである。

唯一理解を求められることは、これらが優れることなのである。ゆえに既存現実の崩壊が存在するのである。

これらは旧世界という言葉が正しい。コンピュータという現実における新しい可能性は技術進歩とともに、新しい未来の約束を有するからである。

これら企業の挑戦は正しいと考える。企業の夢ということがが整合性を与えるのである。